

令和8年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第一中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

●中学生という発達段階において、確かな学力と豊かな感性をもち、将来に夢を抱いて前向きに生きていく基盤を育成する。また、地域の一員として活動することに価値を見出し、グローバル社会において協働的に活動する機会を設けることにより、「社会を構成する一員」としての自覚を高める。

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
●基礎学力の定着と家庭学習の習慣化 ・第2学年を対象に夏季休業中に5日間の集中講座を開設して、学習成果をもとに家庭学習の習慣化を図る。 ●キャリア教育の推進 ・全校ハローワークを開催し、約20業種の職業人を招聘して、学年を超えた小集団で職業の内容を聞いたり体験をしたりすることにより、職業人のすごさを体感させる。 ●主体的・協働的な学習の推進 ・アナログ式で容易に小集団で討議や議論をさせられる環境を整え、子ども同士が学び合う習慣を身に付けさせる。 ●特別支援学級生徒の自立活動の推進 ・自分が定めた漢字検定のハードルをクリアしようとする経験により自立活動の推進を図る。	●文化的行事の充実（合唱コンクール） ・音響効果のいいホールで合唱を披露したり鑑賞することにより、「歌う一中」の一員であることの自覚を高める。 ●豊かな表現力の育成 ・音や言語による表現の幅を広げることにより、表現することに対する抵抗感をなくし、認知した自分自身の内面を語れる人材を育成する。 ●道徳教育の充実 ・道徳授業地区公開講座において、授業後に有識者の話を聞き、正しいと理解していても行動できないことや、自分の意見はもっていても多数派の意見に同調してしまうなどの、人間なら誰もがもっている弱みに気づかせるとともにメタ認知能力を高める。	●生徒理解を深める ・日常の学級経営では見えてこない子どもの内面や学級内の立場などについて、ハイパーQUを活用して個別の支援や学級経営改善に努める。そして、再びハイパーQUを活用して、取り組みの成果と課題を分析しその後の学級・学年に役立てる。 ●生徒会本部・防災部・ボランティア部の活動支援 ・毎朝行っている地域清掃の環境を整備してあげるとともに、校内の美化活動の材料の準備をして、ボランティア活動の充実を図る。

令和7年度 全国・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	64.3	50.3	65.3	47.8	82.5	62.5	41.5	53.8	36.7	52.4
区	65.4	51.3	68.4	50.6	82.6	64.6	42.4	56.3	43.8	54.8
区との比較	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 2.8	▲ 0.1	▲ 2.1	▲ 0.9	▲ 2.5	▲ 7.1	▲ 2.4
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	56.8	37.8	48.9	44.0	50.3					
区	62.0	42.1	56.0	48.3	53.5					
区との比較	▲ 5.2	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 4.3	▲ 3.2					

全国学力・学習状況調査（3年）

	国語	数学	理科
自校	47	41	421
全国（公立）	54.1	48.3	503
全国（公立）との比較	▲ 7.1	▲ 7.3	▲ 82.0

※学校の結果は整数で示されています。